

原則の声明

次世代の大規模出生コホート調査に関する国際作業グループ

この声明は、子どもの健康と環境に関する進行中及び計画中の大規模な出生コホート調査の関係者によって署名されたものである。表明された見解は、著者及び署名者のみに帰属するものであって、所属機関は、個人の特定のために記載されているにすぎない。

我々は、WHO の調整の下に参集し、次世代の大規模出生コホート調査に関する国際作業グループとして知られることとなる作業グループを結成し、我々の進行中及び計画中の大規模出生コホート調査について、議論し、情報交換を行った。

作業グループの目的は、以下のとおりである。

1. 各出生コホート調査に関係する専門家間の信頼関係を深めること
2. 各出生コホート調査の内容とプロセスの共通化・標準化の可能性について専門家間で意見交換を行うこと
3. 出生コホート調査におけるアウトカム（健康影響）や曝露測定など、核となる調査項目の共通化・標準化に向けて努力すること

データ収集開始時に、これらの測定を共通化・標準化することにより、我々の活動の質が高まるであろう。例えば、調査から得られたデータを統合し、稀な幼少期の疾患に関するデータ分析能力を高めるであろう。また、低い濃度レベルでの化学物質曝露に関する理解を高め、その健康影響の統計解析を行うことを可能とするであろう。我々はこの努力が将来世代の安全性を高めることに貢献することを期待する。

国際作業グループ内で共有した情報には、機密性がある情報が含まれることを我々は理解している。署名者は、作業グループに参加することによって得られる情報を漏洩したり、他の目的で利用又は複製しないことを約束する。

また、我々は、この機密保持に関する義務は、作業グループが終了しても継続することを理解する。

特に、我々は、作業グループに参加することによって得られる機密情報に誰もアクセスできないよう、あらゆる合理的な処置を取る。これらの機密情報には、分析方法、調査方法、未投稿の研究結果、広報戦略についての詳細情報などが含まれる。

権限のない者が機密情報にアクセスしたり、そのような機密情報を漏えいするよう圧力をかけられた場合、当該コホート調査の連絡先及び作業グループに報告することとする。